

記載例

参考様式第2号

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(ha)
ピーマン	0.5ha
計	0.5ha

秋用肥料	春用肥料	年間
○		

注：該当欄に○を付けること

氏名（法人・組織名） **薩摩太郎**

住 所 **鹿児島県鹿児島市鴨池新町1番1号**

電話番号 **099-286-1234**

1. 実施する（してきた）取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組の欄に「○」、従来の取組の強化・拡大に「○」を記入してください。

取組メニュー	前年までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組		
		継続	新たな取組	取組の強化・拡大
ア 土壌診断による施肥設計	○			○
イ 生育診断による施肥設計				
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入				
エ 堆肥の利用	○	○		
オ 汚泥肥料の利用（下水汚泥等）				
カ 食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外）				
キ 有機質肥料（指定混合肥料等を含む）の利用				
ク 緑肥作物の利用				
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用				
コ 低成分肥料（単肥配合を含む）の利用				
サ 可変施肥機の利用（ドローンの活用等も含む）				
シ 局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用				
ス 育苗箱（ポット苗）施肥の利用				
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。）				
ソ 地域特認技術の利用（ ）				

私は、添付した領収書（請求書）等記載の肥料（肥料費）について以下のとおり、確約します。
 令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。
※チェック欄にチェックした上で署名してください。
氏名（自署） **薩摩太郎**

（注） 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。